

# 教団側が突然訪問「マスコミ出ないで」

「世界平和統一家庭連合」(旧統一教会)への高額献金の被害を実名で訴えてきた高知県の農業、橋田達夫さん(64)の自宅を、教団の勅使河原秀行・教会改革推進本部長が突然訪れ、「マスコミにはもう出ないで欲しい」などと要請したとして、橋田さんの代理人で全国霊感商法対策弁護士連絡会の弁護士が18日、教団に抗議書を送った。東京都内で会見し、明らかに



教団側の自宅訪問について説明する橋田達夫さん＝18日

## 旧統一教会 被害訴える男性宅

した。抗議書は「深刻な被害を訴えようとしている言論を封殺しようとするもので、許されるものではない」としている。▼1面参照

橋田さんは、信者だった元妻の高額献金などが理由で約9年前に離婚したこと、元妻と同居していた長男が約2年前に自死したことなどをメディアの取材に訴えてきた。12日には野党合同ヒアリングにも出席。代理人によると、田んぼに「悪霊がいる」と教団側から言われて土地を売却するなどし、一家の被害は約1億円に上るといふ。

橋田さんによると、勅使河原氏の訪問は16日夕。約束なしで現れ、「一対一で話したい」「マスコミにはもう出ないで欲しい」と言われた。前日に地元で教団関係者から「面会を希望している」と電話があったが、明確に断っていた。橋田さんが警察に通報し、警察官が到着するまでやりとりは続いたという。橋田さんは「訪問後は家に」誰が入ってくるかわからず、24時間眠れなかった。僕を封じ込めて、お金を返す気もない。これ以上の怒りはない」と訴えた。

教団は、今月7日に日本外国特派員協会で行われた元2世信者の小川さゆりさん(仮名)の会見を中止するよう求める要請文を同協会に送っている。

橋田さんの代理人の阿部克臣弁護士は「勇気を出して声を上げている人の声をつぶさうとしていく」と批判した。

教団の広報担当は「中身が分からないのでお答えしかねる」とコメントした。